

3. 調査地点及び実施方法

詳細環境調査（水質、底質、生物及び大気）は、全国の都道府県及び政令指定都市に試料採取及び分析を委託し、一部は民間分析機関において分析を実施した。物質調査番号 [2]、[3]、[4]、[6]、[7]、[11]、[15]及び[18]の調査対象物質（主な用途が農薬）の水質調査については、散布時期を考慮した採水を実施することとした。

(1) 試料採取機関

調査担当機関名	調査媒体			
	水質	底質	生物	大気
北海道環境科学研究センター	○	○		○
札幌市衛生研究所	○			○
青森県三八地域県民局地域連携部 八戸環境管理事務所			○	
岩手県環境保健研究センター	○		○	
宮城県保健環境センター	○			
仙台市衛生研究所	○			○
山形県環境科学研究センター	○	○		
茨城県霞ヶ浦環境科学センター	○			
栃木県保健環境センター	○			
群馬県衛生環境研究所	○			
埼玉県環境科学国際センター	○			○
千葉県環境研究センター	○	○		○
東京都環境科学研究所	○	○		○
横浜市環境創造局環境科学研究所	○	○	○	
川崎市公害研究所	○	○	○	
新潟県保健環境科学研究所	○	○	○	
石川県保健環境センター	○	○		
長野県環境保全研究所	○	○		○
岐阜県保健環境研究所				○
静岡県環境衛生科学研究所	○	○		
愛知県環境調査センター	○	○		
名古屋市環境科学研究所	○	○		
三重県科学技術振興センター	○			○
滋賀県琵琶湖環境科学研究所	○	○	○	
京都府保健環境研究所				○
京都市衛生公害研究所				○
大阪府環境農林水産総合研究所	○	○	○	○
大阪市立環境科学研究所	○	○		
兵庫県立健康環境科学研究所	○	○	○	
神戸市環境局環境保全指導課	○			
和歌山県環境衛生研究センター	○	○		
岡山県環境保健センター	○	○	○	
広島県立総合技術研究所保健環境センター	○	○		
山口県環境保健センター	○	○	○	
徳島県保健環境センター				
香川県環境保健研究センター	○	○		
愛媛県立衛生環境研究所	○			
福岡県保健環境研究所	○			
北九州市環境科学研究所	○			
福岡市保健環境研究所	○	○		
佐賀県環境センター		○		
鹿児島県環境保健センター	○			

(注) 名称は平成 19 年度のもの

(2) 調査地点及び調査対象物質

水質については表1-1及び図1-1、底質については表1-2及び図1-1、生物については表1-3及び図1-2、大気については表1-4及び図1-3に示した。その内訳は以下のとおりである。

調査媒体	地方公共団体数	調査対象物質（群）数	調査地点数	調査地点ごとの検体数
水質	36	22	53	3※ ¹
底質	23	8	31	3※ ²
生物	10	3	11	3
大気	12	3	13	3

(注1) 物質調査番号[2]、[3]、[4]、[6]、[7]、[11]、[15]及び[18]を調査対象物質とした札幌市の豊平川東橋、宮城県の迫川西前橋（登米市）、茨城県の利根川布川栄橋（利根町）及び那珂川勝田橋（ひたちなか市）、東京都の多摩川水系3地点(多摩川関戸橋（多摩市）、浅川新井橋（日野市）、谷地川田島橋（八王子市）)、横浜市の鶴見川亀の子橋、大阪府の大和川河口（大阪市・堺市）、岡山県の旭川乙井手堰（岡山市）並びに愛媛県の岩松川三島（宇和島市）においては、散布時期を考慮した採水を行い、採取日数を3日間とした。

(注2) 多摩川関戸橋（多摩市）、浅川新井橋（日野市）、谷地川田島橋（八王子市）においては、各地点とも、1日の採取で1検体を調査することとした。

表1-1 (1/2) 平成19年度詳細環境調査地点・対象物質一覧 (水質)

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質										
		[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]
北海道	石狩川河口石狩河口橋 (石狩市)					○			○			
札幌市	豊平川中沼 (札幌市)											
	豊平川東橋 (札幌市)		○	○	○		○	○				○
岩手県	豊沢川 (花巻市)	○								○		
宮城県	迫川西前橋 (登米市)		○	○	○		○	○				○
仙台市	広瀬川広瀬大橋 (仙台市)	○										
山形県	最上川河口 (酒田市)									○	○	
茨城県	那珂川勝田橋 (ひたちなか市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	利根川河口かもめ大橋 (神栖市)								○			
	利根川布川栄橋 (利根町)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	田川 (宇都宮市)											
群馬県	鎗川多胡橋 (吉井町)											
埼玉県	柳瀬川志木大橋 (志木市)	○										
	市野川徒歩橋 (吉見町)	○										
千葉県	養老川浅井橋 (市原市)											
	市原・姉崎海岸					○				○	○	
東京都	荒川河口 (江東区)											
	隅田川河口 (港区)											
	多摩川関戸橋 (多摩市)		○	○	○		○	○				○
	浅川新井橋 (日野市)		○	○	○		○	○				○
	谷地川田島橋 (八王子市)		○	○	○		○	○				○
横浜市	鶴見川亀の子橋 (横浜市)		○	○	○		○	○	○	○		○
川崎市	多摩川河口 (川崎市)	○				○			○	○	○	
	川崎港京浜運河	○				○			○	○	○	
新潟県	信濃川下流 (新潟市)	○							○			
石川県	犀川河口 (金沢市)											
長野県	諏訪湖湖心					○			○			
静岡県	清水港										○	
愛知県	名古屋港											
名古屋市	堀川港新橋 (名古屋市)										○	
三重県	四日市港	○				○			○			
滋賀県	琵琶湖唐崎沖中央					○			○	○		
大阪府	大和川河口 (大阪市・堺市)		○	○	○		○	○				○
	大和川河口 (堺市)					○			○			
大阪市	大阪港					○			○	○	○	
兵庫県	姫路沖								○	○		
神戸市	神戸港中央											
和歌山県	紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)		○	○	○					○		○
岡山県	旭川乙井手堰 (岡山市)		○	○	○		○	○				○
	水島沖					○			○		○	
広島県	呉港											
	広島湾											
山口県	徳山湾					○						
	萩沖					○						
香川県	高松港	○				○	○	○				
愛媛県	岩松川三島 (宇和島市)		○	○	○		○	○				○
福岡県	大牟田沖											
	雷山川加布羅橋 (前原市)											
北九州市	関門海峡					○			○			
	洞海湾					○			○			
福岡市	博多湾	○				○			○	○	○	
鹿児島県	天降川 (霧島市)	○										
	五反田川五反田橋 (いちき串木野市)	○										

[1] アクリル酸、[2] *N*-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン (別名: ペンディメタリン)、[3] *S*-エチル=ヘキサヒドロ-1*H*-アゼピン-1-カルボチオアート (別名: モリネート)、[4] 2-クロロ-2',6'-ジエチル-*N*-(メトキシメチル)アセトアニリド (別名: アラクロー)、[5] *o*-クロロトルエン、[6] α -シアノ-3-フェノキシベンジル=2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチレート (別名: フェンバレレート)、[7] (*S*)- α -シアノ-3-フェノキシベンジル=(*S*)-2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチレート (別名: エスフェンバレレート)、[8] ジイソプロピルナフタレン、[9] ジエチルビフェニル、[10] シクロヘキセン、[11] 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 (別名: 2,4-D又は2,4-PA)

表1-1 (2/2) 平成19年度詳細環境調査地点・対象物質一覧(水質)

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質											
		[12]	[13]	[14]	[15]	[16]	[17]	[18]	[19]	[21]	[23]	[24]	
北海道	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）	○								○			
札幌市	豊平川中沼（札幌市）								○				
	豊平川東橋（札幌市）		○		○			○			○		
岩手県	豊沢川（花巻市）	○		○		○			○				
宮城県	迫川西前橋（登米市）				○		○	○	○				
仙台市	広瀬川広瀬大橋（仙台市）												
山形県	最上川河口（酒田市）			○		○							
茨城県	那珂川勝田橋（ひたちなか市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	利根川河口かもめ大橋（神栖市）												
	利根川布川栄橋（利根町）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
栃木県	田川（宇都宮市）						○						
群馬県	鎭川多胡橋（吉井町）		○									○	
埼玉県	柳瀬川志木大橋（志木市）											○	
	市野川徒歩橋（吉見町）											○	
千葉県	養老川浅井橋（市原市）								○			○	
	市原・姉崎海岸			○		○							
東京都	荒川河口（江東区）	○											
	隅田川河口（港区）	○											
	多摩川関戸橋（多摩市）				○			○					
	浅川新井橋（日野市）				○			○					
	谷地川田島橋（八王子市）				○			○					
横浜市	鶴見川亀の子橋（横浜市）			○	○	○	○	○	○				
川崎市	多摩川河口（川崎市）			○		○						○	
	川崎港京浜運河			○		○						○	
新潟県	信濃川下流（新潟市）						○		○				
石川県	犀川河口（金沢市）		○				○				○		
長野県	諏訪湖湖心		○							○			
静岡県	清水港												
愛知県	名古屋港	○							○	○		○	
名古屋市	堀川港新橋（名古屋市）								○			○	
三重県	四日市港	○					○						
滋賀県	琵琶湖唐崎沖中央			○		○			○	○			
大阪府	大和川河口（大阪市・堺市）				○			○					
	大和川河口（堺市）	○								○			
大阪市	大阪港	○	○	○		○			○	○			
兵庫県	姫路沖		○	○	○	○							
神戸市	神戸港中央	○							○				
和歌山県	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）	○		○		○		○	○				
岡山県	旭川乙井手堰（岡山市）				○			○					
	水島沖	○							○			○	
広島県	呉港									○			
	広島湾									○			
山口県	徳山湾	○	○				○						
	萩沖	○	○				○						
香川県	高松港	○					○			○			
愛媛県	岩松川三島（宇和島市）				○			○					
福岡県	大牟田沖	○							○				
	雷山川加布羅橋（前原市）	○							○				
北九州市	関門海峡	○											
	洞海湾												
福岡市	博多湾			○		○			○			○	
鹿児島県	天降川（霧島市）												
	五反田川五反田橋（いちき串木野市）												

[12] ジフェニルアミン、[13] 6,6'-ジ-*tert*-ブチル-4,4'-ジメチル-2,2'-メチレンジフェノール、[14] ジベンジルトルエン、[15] 2-[(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ]-2-フェニル酢酸エチル(別名:フェントエート又はPAP)、[16] 水素化テルフェニル、[17] 2-チオキソ-3,5-ジメチルテトラヒドロ-2*H*-1,3,5-チアジアジン(別名:ダゾメット)、[18] チオりん酸*O,O*-ジメチル-*O*-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)(別名:フェンチオン又はMPP)、[19] テストステロン、[21] 1,1-ビス(*tert*-ブチルジオキシ)-3,3,5-トリメチルシクロヘキサン、[23] ヘキサクロブタ-1,3-ジエン、[24] 6-メチルヘブチル=3-(3,5-ジ-*tert*-ブチル-4-ヒドロキシフェニル)プロピオナート

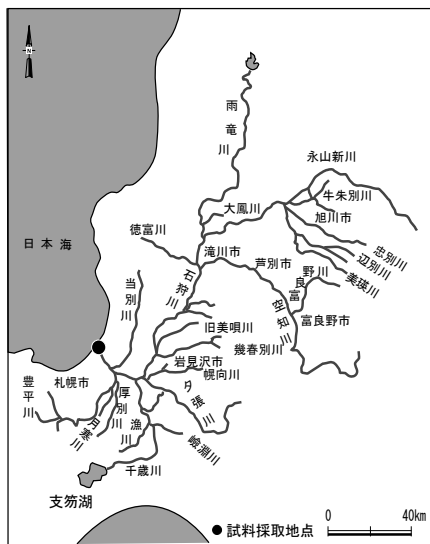
表1-2 平成19年度詳細環境調査地点・対象物質一覧（底質）

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質							
		[4]	[9]	[10]	[14]	[15]	[16]	[21]	[23]
北海道	石狩川河口石狩河口橋（石狩市）							○	
山形県	最上川河口（酒田市）		○	○	○		○		
千葉県	市原・姉崎海岸		○	○	○		○		
東京都	荒川河口（江東区）							○	
	隅田川河口（港区）							○	
	多摩川関戸橋（多摩市）	○				○			
	浅川新井橋（日野市）	○				○			
	谷地川田島橋（八王子市）	○				○			
横浜市	鶴見川亀の子橋（横浜市）	○				○			
川崎市	多摩川河口（川崎市）	○	○	○	○	○	○		
	川崎港京浜運河		○	○	○		○		
新潟県	信濃川下流（新潟市）	○	○		○	○	○		
石川県	犀川河口（金沢市）								○
長野県	諏訪湖湖心							○	
静岡県	清水港		○	○	○		○		
愛知県	名古屋港							○	
名古屋市	堀川港新橋（名古屋市）			○					
滋賀県	琵琶湖唐崎沖中央		○		○		○	○	
大阪府	大和川河口（堺市）	○				○		○	
大阪市	大阪港		○	○	○		○	○	
兵庫県	姫路沖	○	○		○	○	○		
和歌山県	紀の川河口紀の川大橋（和歌山市）		○	○	○		○		
岡山県	旭川乙井手堰（岡山市）	○				○			
	水島沖	○		○		○			
広島県	呉港							○	
	広島湾							○	
山口県	徳山湾	○				○			
	萩沖	○				○			
香川県	高松港							○	
福岡市	博多湾		○	○	○		○		
佐賀県	伊万里湾			○					

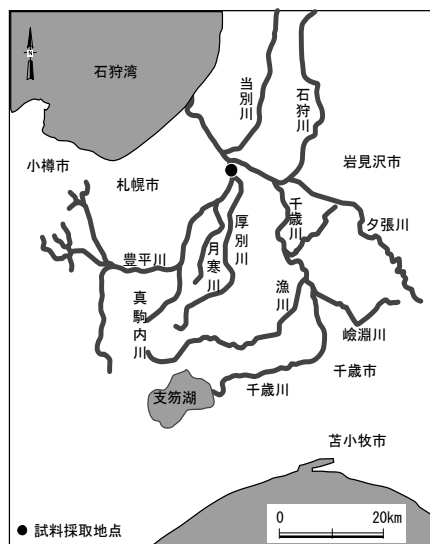
[4] 2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド（別名：アラクロール）、[9] ジエチルビフェニル、[10] シクロヘキセン、[14] ジベンジルトルエン、[15] 2-[(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ]-2-フェニル酢酸エチル（別名：フェントエート又はPAP）、[16] 水素化テルフェニル、[21] 1,1-ビス(*tert*-ブチルジオキソ)-3,3,5-トリメチルシクロヘキサン、[23] ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン



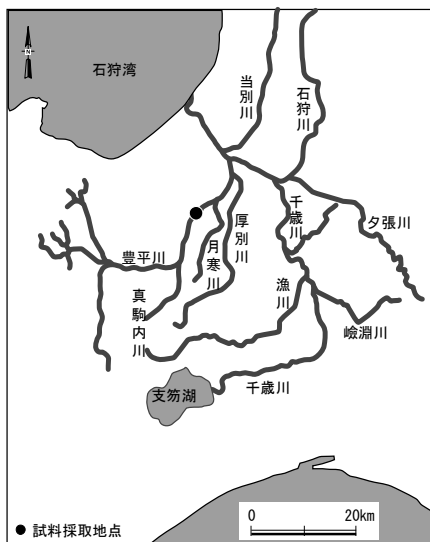
図1-1 平成19年度詳細環境調査地点（水質・底質）



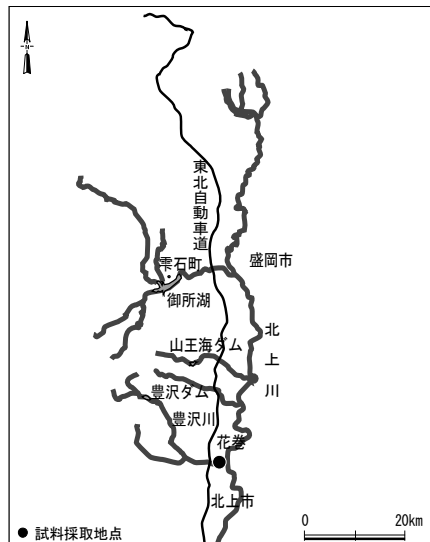
石狩川河口石狩河口橋（石狩市）
N 43° 13' 45"
E 141° 21' 09"
（世界測地系）



豊平川中沼（札幌市）
N 43° 8' 26"
E 141° 27' 10"
（世界測地系）



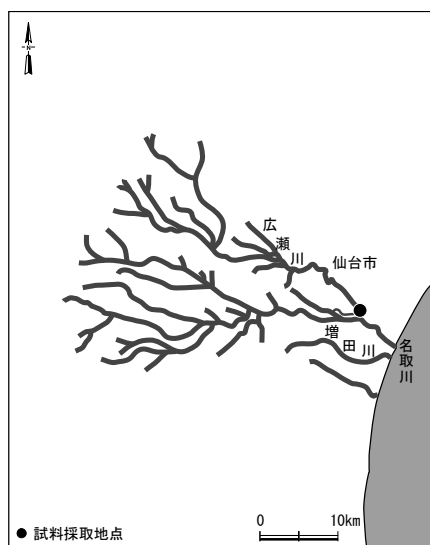
豊平川東橋（札幌市）
N 43° 03' 54"
E 141° 22' 47"
（世界測地系）



豊沢川（花巻市）
N 39° 22' 54"
E 141° 07' 09"
（世界測地系）

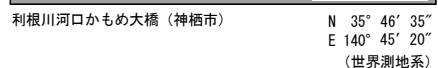
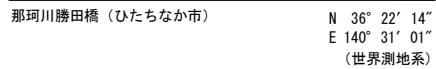


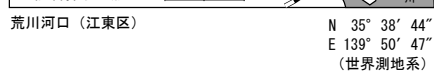
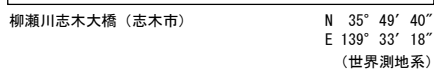
迫川西前橋（登米市）
N 38° 34' 17"
E 141° 12' 49"
（世界測地系）

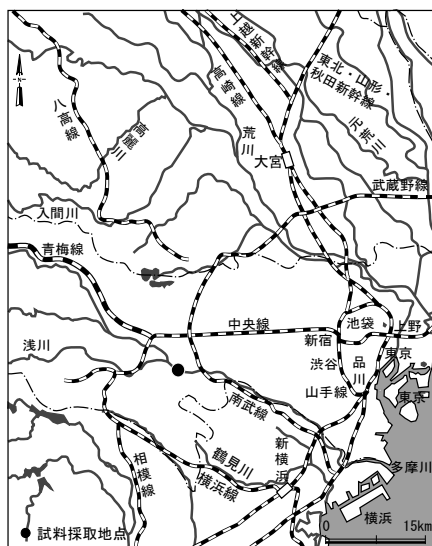


広瀬川広瀬大橋（仙台市）
N 38° 12' 48"
E 140° 54' 32"
（世界測地系）

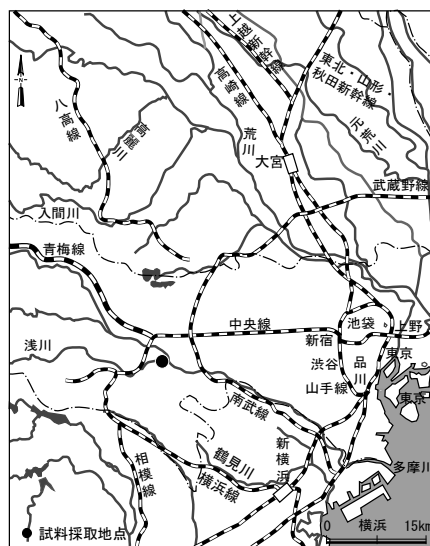
図 1-2 (1/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点（水質・底質）詳細



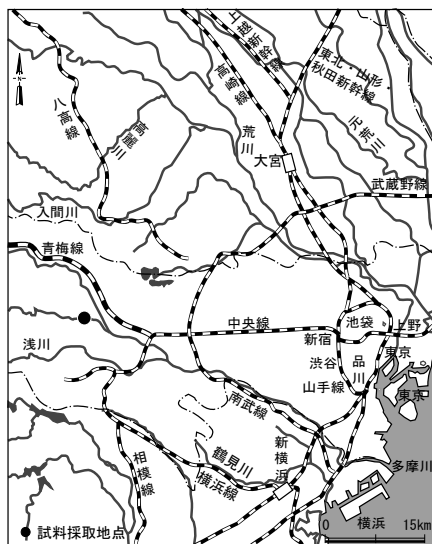




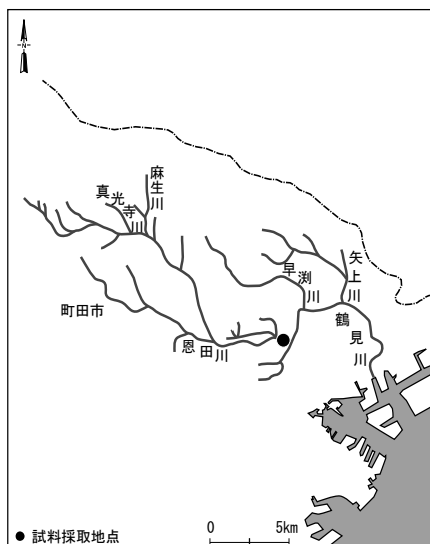
多摩川関戸橋（多摩市）
N 35° 39' 08"
E 139° 27' 11"
(世界測地系)



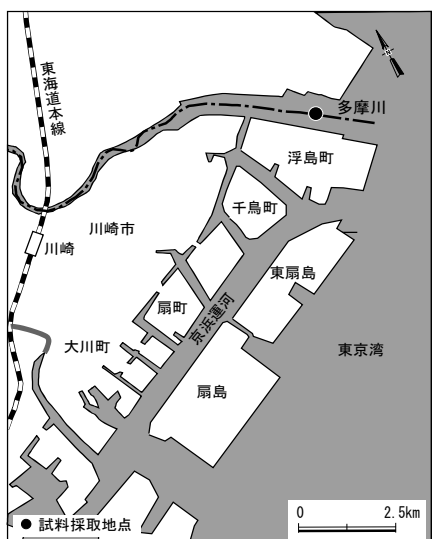
浅川新井橋（日野市）
N 35° 40' 03"
E 139° 25' 11"
(世界測地系)



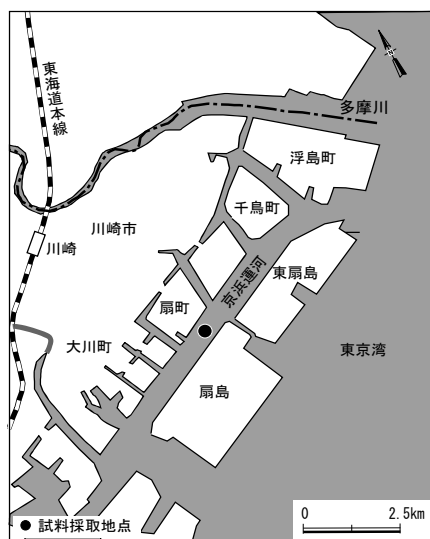
谷地川田島橋（八王子市）
N 35° 40' 48"
E 139° 21' 59"
(世界測地系)



鶴見川竜の子橋（横浜市）
N 35° 30' 52"
E 139° 36' 29"
(世界測地系)

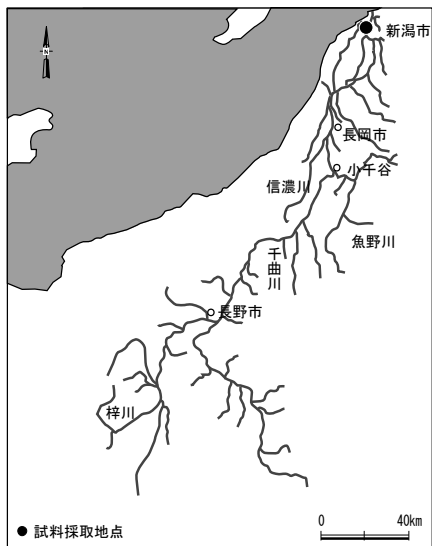


多摩川河口（川崎市）
N 35° 31' 48"
E 139° 47' 01"
(世界測地系)

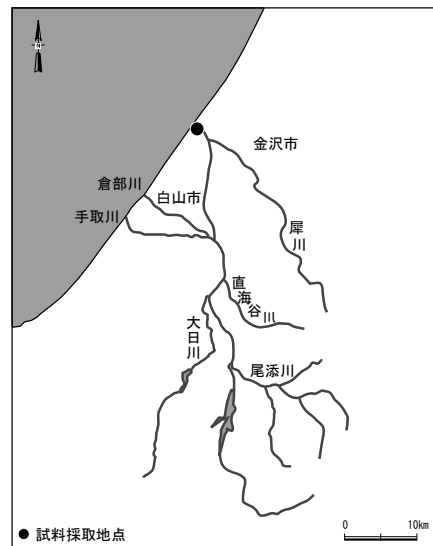


川崎港京浜運河
N 35° 29' 43"
E 139° 43' 40"
(世界測地系)

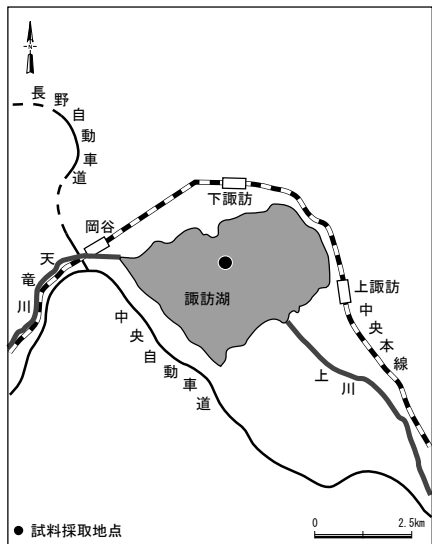
図 1-2 (4/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点（水質・底質）詳細



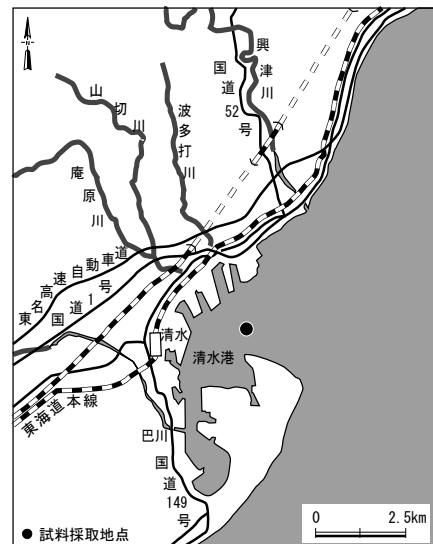
信濃川下流（新潟市）
N 37° 52' 59"
E 139° 00' 56"
（世界測地系）



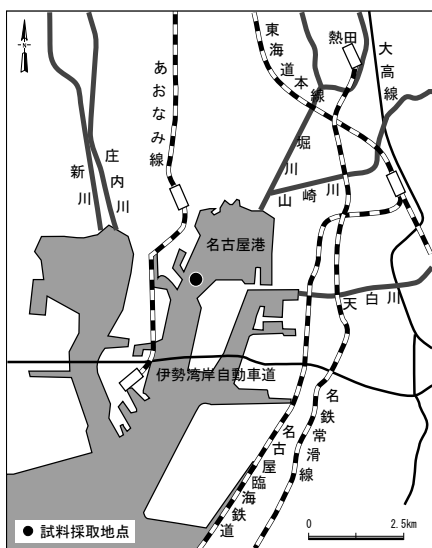
犀川河口（金沢市）
N 36° 35' 49"
E 136° 35' 22"
（世界測地系）



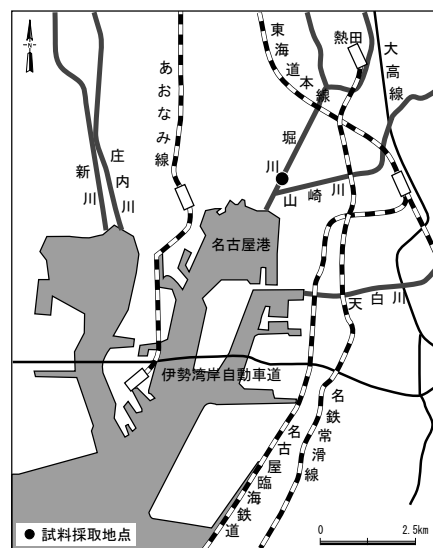
諏訪湖湖心
N 36° 03' 00"
E 138° 05' 10"
（世界測地系）



清水港
N 35° 01' 58"
E 138° 31' 09"
（世界測地系）



名古屋港
N 35° 04' 16"
E 136° 52' 09"
（世界測地系）



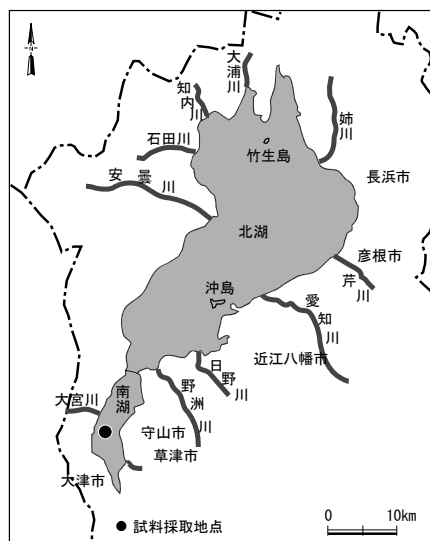
堀川港新橋（名古屋市）
N 35° 05' 53"
E 136° 53' 33"
（世界測地系）

図 1-2 (5/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点（水質・底質）詳細



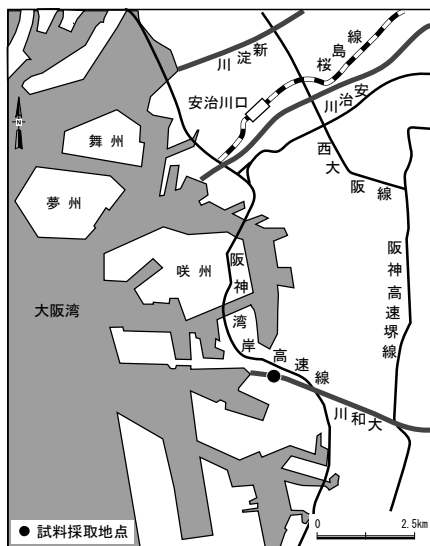
四日市港

N 34° 56' 58"
E 136° 39' 11"
(世界測地系)



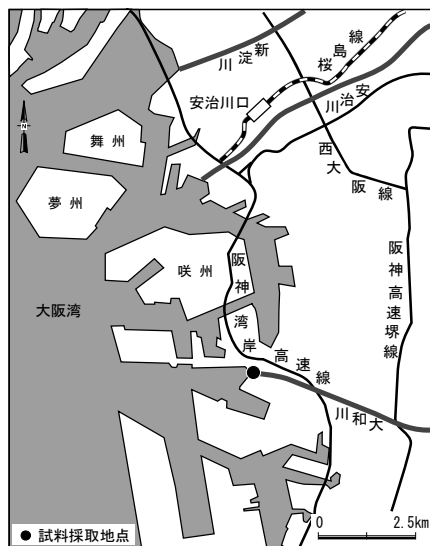
琵琶湖唐崎沖中央

N 35° 02' 46"
E 135° 53' 44"
(世界測地系)



大和川河口 (大阪市・堺市)

N 34° 36' 05"
E 135° 28' 18"
(世界測地系)



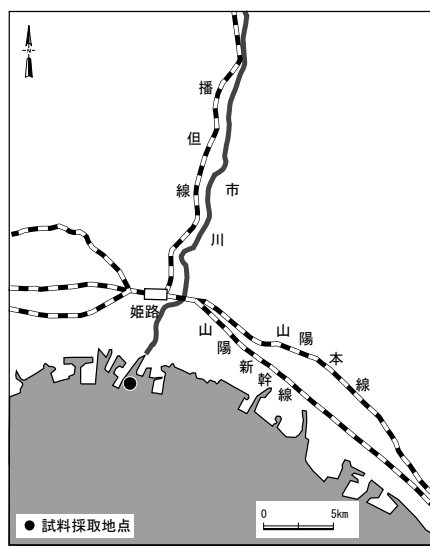
大和川河口 (堺市)

N 34° 36' 25"
E 135° 26' 08"
(世界測地系)



大阪港

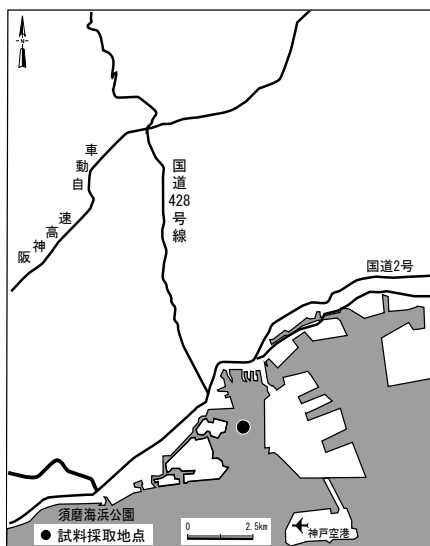
N 34° 39' 31"
E 135° 25' 53"
(世界測地系)



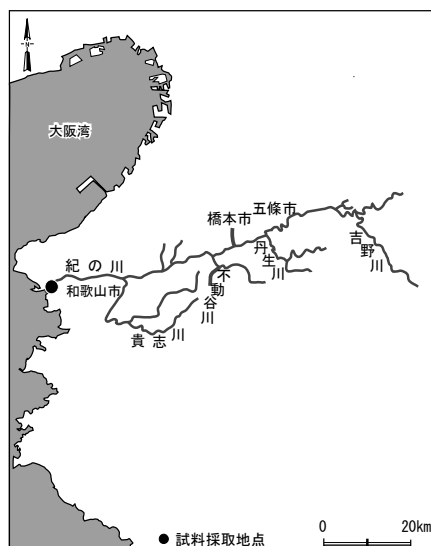
姫路沖

N 34° 45' 43"
E 134° 40' 11"
(世界測地系)

図 1-2 (6/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点 (水質・底質) 詳細



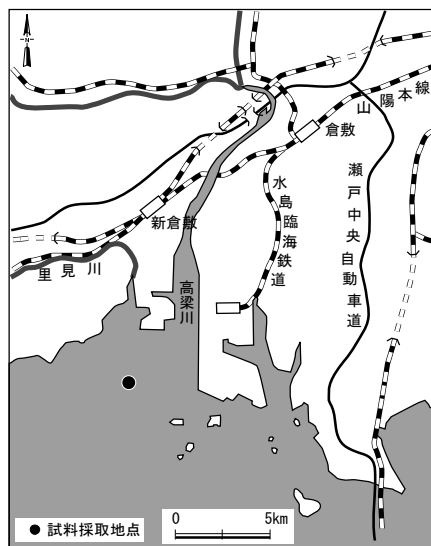
神戸港中央
N 34° 39' 52"
E 135° 11' 40"
(世界測地系)



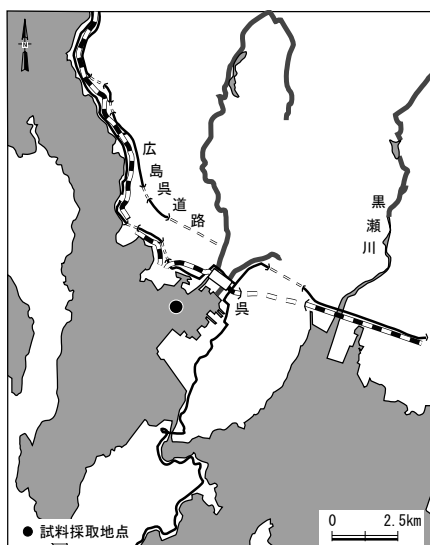
紀の川河口紀の川大橋 (和歌山市)
N 34° 13' 48"
E 135° 09' 22"
(世界測地系)



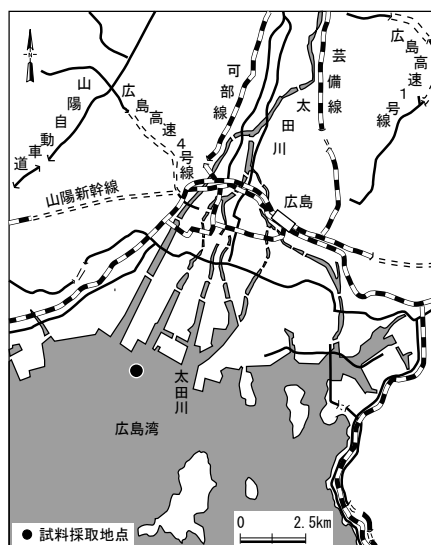
旭川乙井手堰 (岡山市)
N 34° 41' 32"
E 133° 56' 22"
(世界測地系)



水島沖
N 34° 28' 50"
E 133° 39' 54"
(世界測地系)



呉港
N 34° 14' 01"
E 132° 32' 21"
(世界測地系)

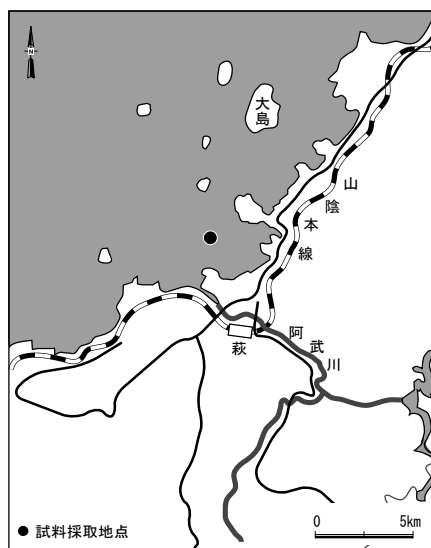


広島湾
N 34° 20' 54"
E 132° 25' 21"
(世界測地系)

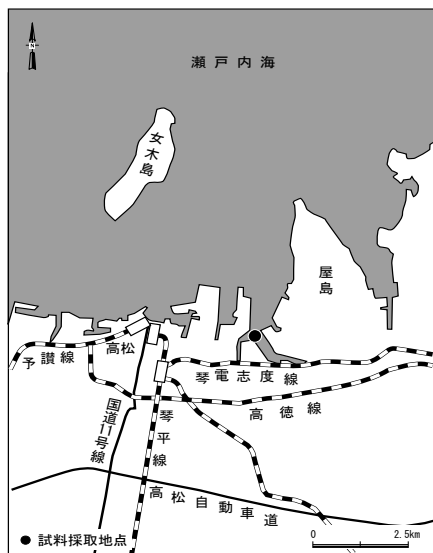
図 1-2 (7/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点 (水質・底質) 詳細



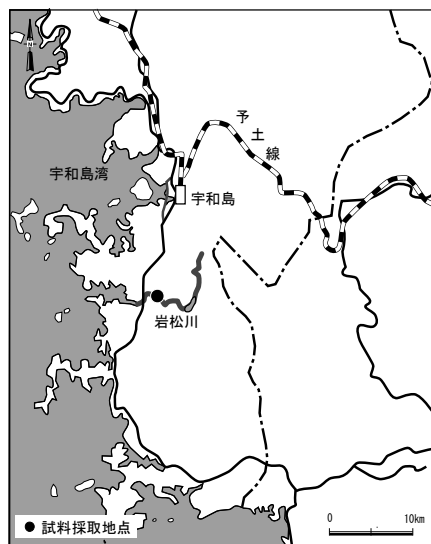
徳山湾
N 33° 59' 37"
E 131° 45' 02"
(世界測地系)



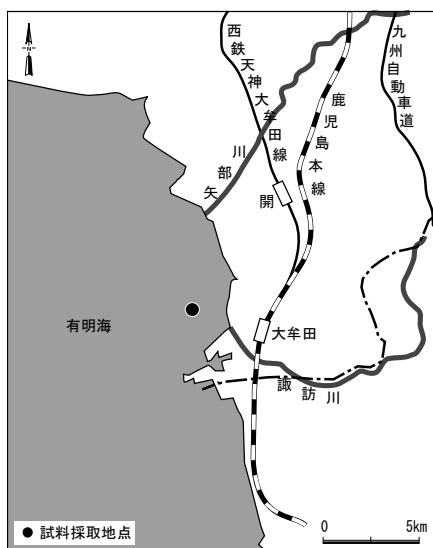
萩沖
N 34° 26' 17"
E 131° 22' 46"
(世界測地系)



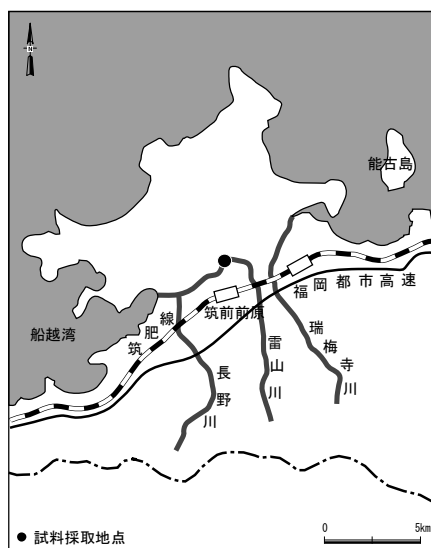
高松港
N 34° 20' 54"
E 134° 04' 40"
(世界測地系)



岩松川三島 (宇和島市)
N 33° 07' 39"
E 132° 32' 07"
(世界測地系)



大牟田沖
N 33° 02' 00"
E 130° 24' 24"
(世界測地系)



雷山川加布羅橋 (前原市)
N 33° 33' 54"
E 130° 11' 25"
(世界測地系)

図 1-2 (8/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点 (水質・底質) 詳細

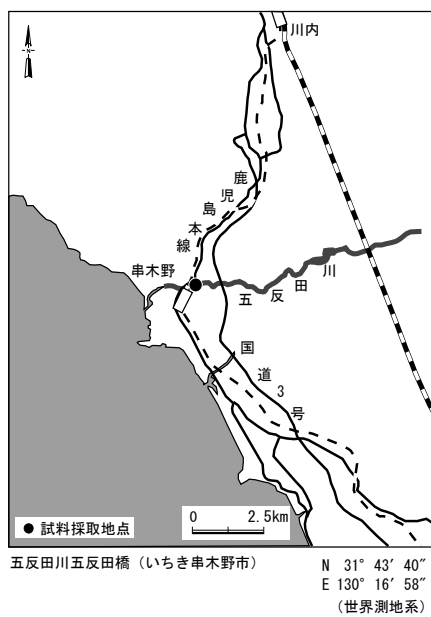
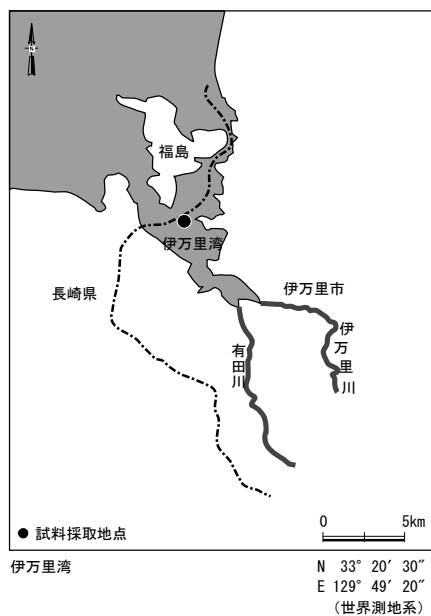
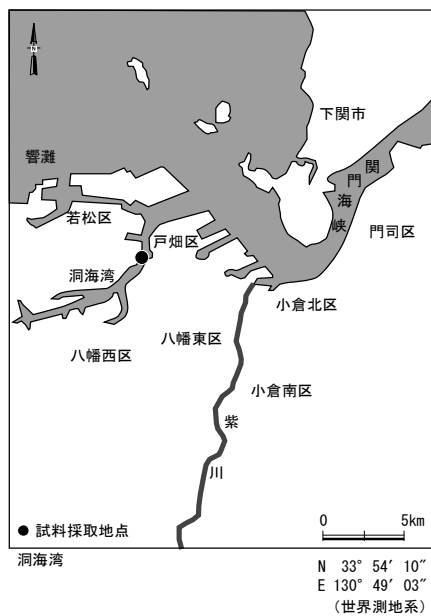
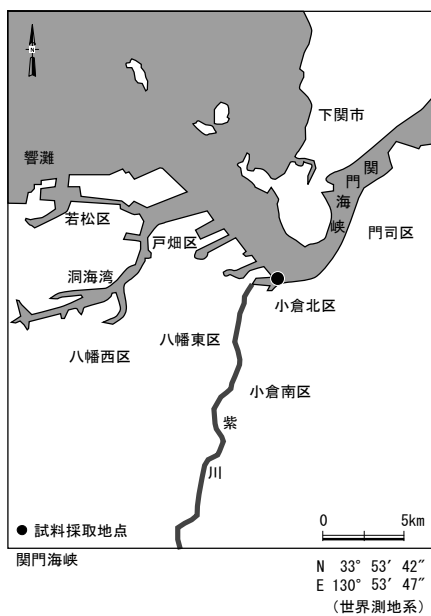


図 1-2 (9/9) 平成 19 年度詳細環境調査地点 (水質・底質) 詳細

表1-3 平成19年度詳細環境調査地点・対象物質一覧（生物）

地方 公共団体	調査地点	生物種	調査対象物質		
			[9]	[14]	[18]
青森県	蕪島（八戸市）	ウミネコ			○
岩手県	盛岡市郊外	ムクドリ	○	○	○
横浜市	鶴見川（横浜市）	コイ	○	○	
川崎市	川崎港扇島沖	スズキ	○	○	
新潟県	信濃川下流（新潟市）	コイ及びニゴイ	○	○	
滋賀県	琵琶湖安曇川（高島市）	ウグイ	○	○	
大阪府	大阪湾	スズキ	○	○	
兵庫県	姫路沖	スズキ	○	○	
岡山県	水島沖	ボラ	○	○	
山口県	徳山湾	ボラ	○	○	
	萩沖	ボラ	○	○	

[9] ジエチルビフェニル、[14] ジベンジルトルエン、[18] チオりん酸O,O-ジメチル-O-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)（別名：フェンチオン又はMPP）

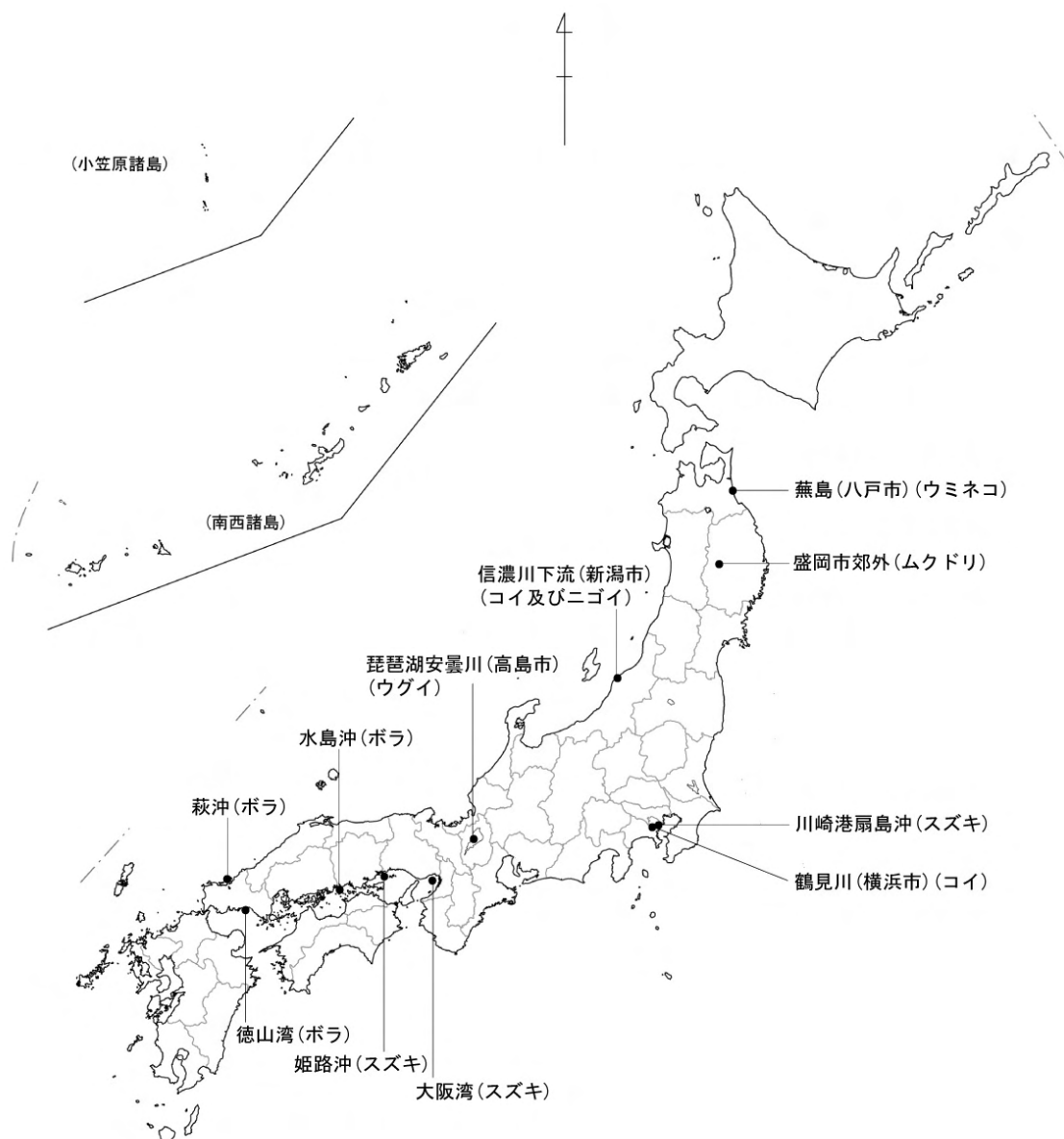


図1-3 平成19年度詳細環境調査地点（生物）

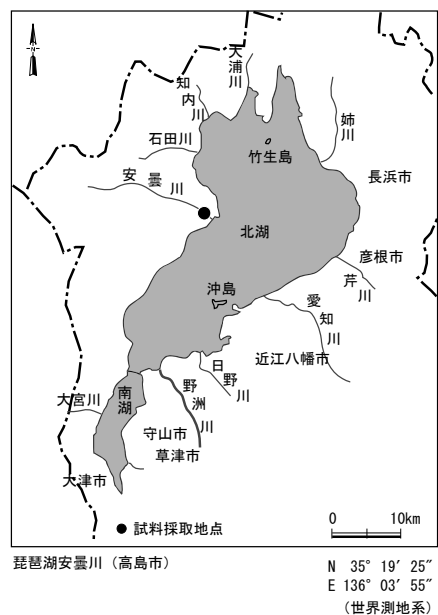
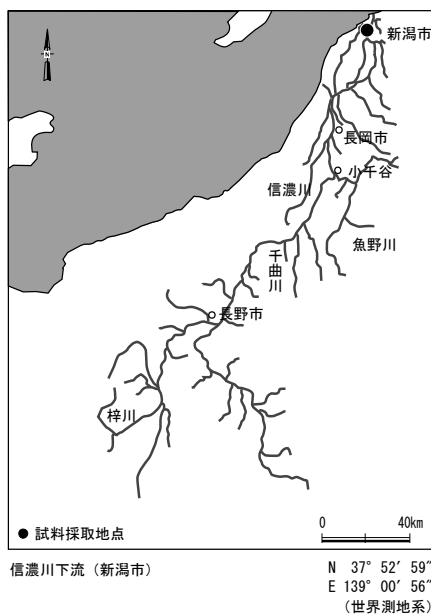
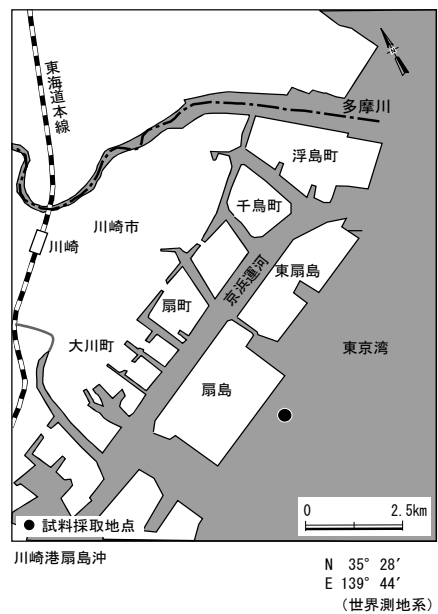
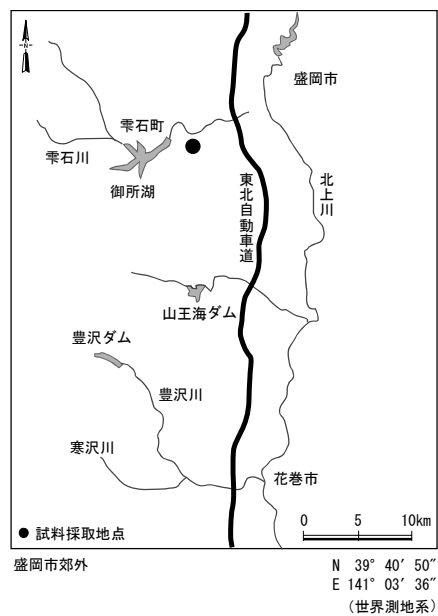
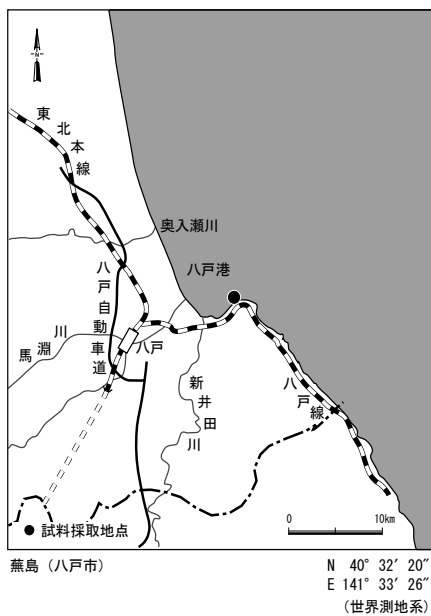
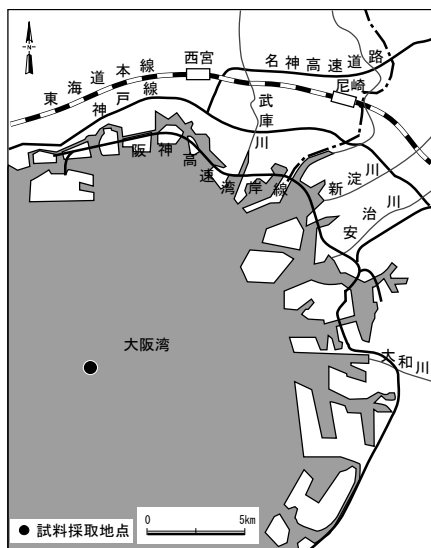
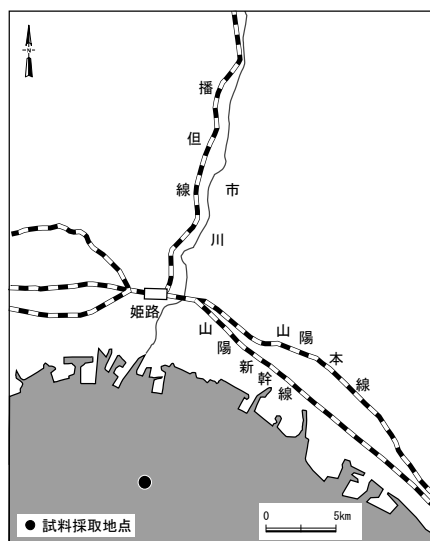


図 1-4（1/2） 平成 19 年度詳細環境調査地点（生物）詳細



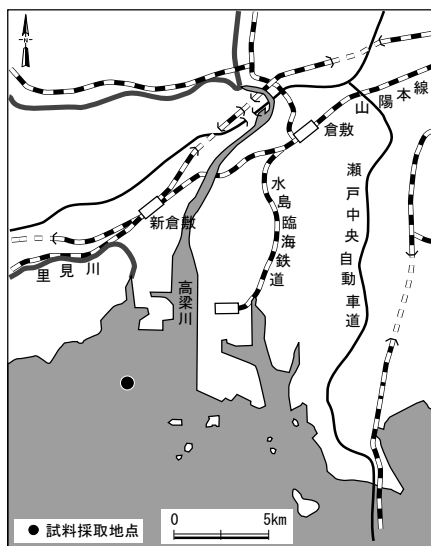
大阪湾

N 34° 36' 03"
E 135° 17' 13"
(世界測地系)



姫路沖

N 34° 41' 59"
E 134° 40' 54"
(世界測地系)



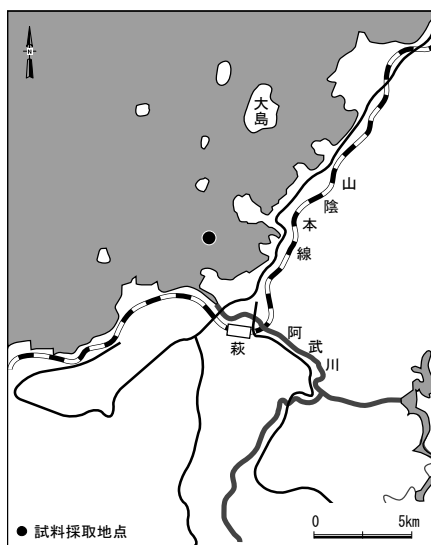
水島沖

N 34° 28' 50"
E 133° 39' 54"
(世界測地系)



徳山湾

N 33° 59' 37"
E 131° 45' 02"
(世界測地系)



萩沖

N 34° 26' 17"
E 131° 22' 46"
(世界測地系)

図 1-4 (2/2) 平成 19 年度詳細環境調査地点 (生物) 詳細

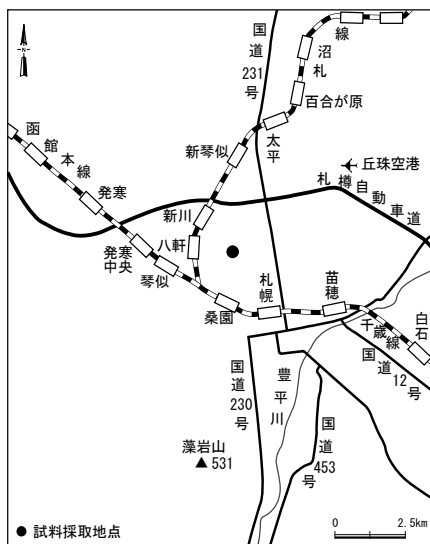
表1-4 平成19年度詳細環境調査地点・対象物質一覧（大気）

地方 公共団体	調査地点	調査対象物質		
		[1]	[20]	[22]
北海道	北海道環境科学研究センター（札幌市）		○	○
札幌市	札幌市衛生研究所（札幌市）	○		
仙台市	榴岡公園（仙台市）	○		
埼玉県	埼玉県環境科学国際センター（騎西町）	○		
千葉県	市原松崎一般環境大気測定局（市原市）	○	○	○
東京都	東京都環境科学研究所（江東区）		○	○
	小笠原父島		○	○
長野県	長野県環境保全研究所（長野市）		○	○
岐阜県	岐阜県保健環境研究所（各務原市）	○		
三重県	三重県科学技術振興センター（四日市市）	○	○	○
京都府	京都府立城陽高校（城陽市）		○	○
京都市	京都市役所（京都市）	○		
大阪府	大阪府環境農林水産総合研究所（大阪市）	○	○	○

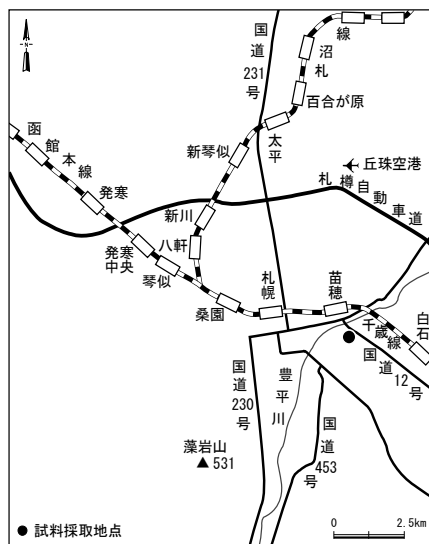
[1] アクリル酸、[20] ナフタレン、[22] ビフェニル



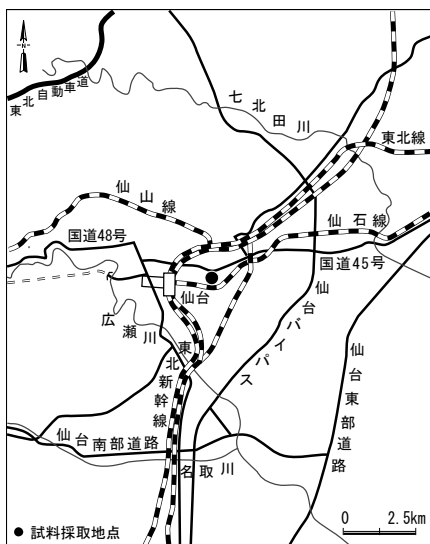
図1-5 平成19年度詳細環境調査地点（大気）



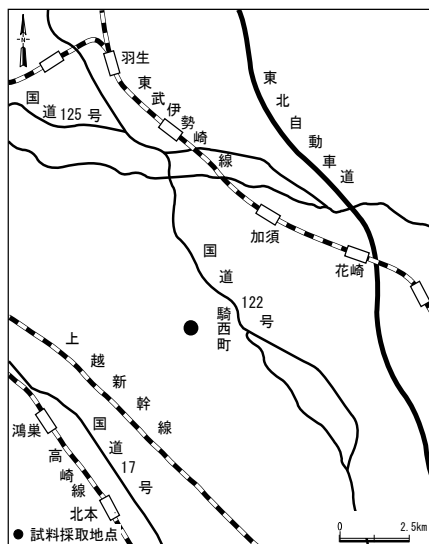
北海道環境科学研究センター（札幌市）
N 43° 04' 56"
E 141° 20' 00"
（世界測地系）



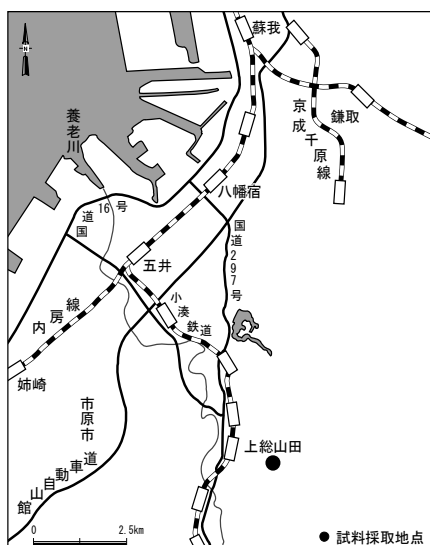
札幌市衛生研究所（札幌市）
N 43° 03' 45"
E 141° 22' 55"
（世界測地系）



榴岡公園（仙台市）
N 38° 15' 36"
E 140° 53' 55"
（世界測地系）



埼玉県環境科学国際センター（騎西町）
N 36° 05' 07"
E 139° 33' 34"
（世界測地系）

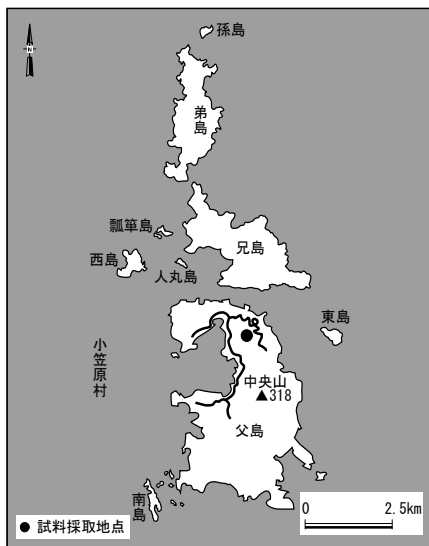


市原松崎一般環境大気測定局（市原市）
N 35° 26' 54"
E 140° 08' 11"
（世界測地系）

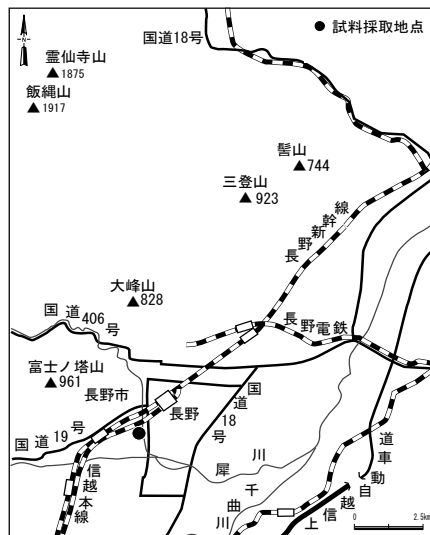


東京都環境科学研究所（江東区）
N 35° 40' 06"
E 139° 49' 27"
（世界測地系）

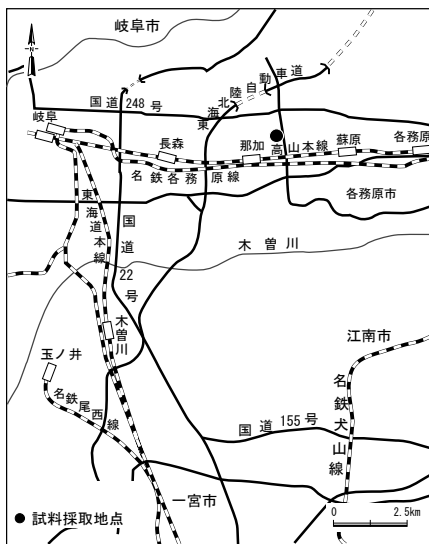
図 1-6（1/3） 平成 19 年度詳細環境調査地点（大気）詳細



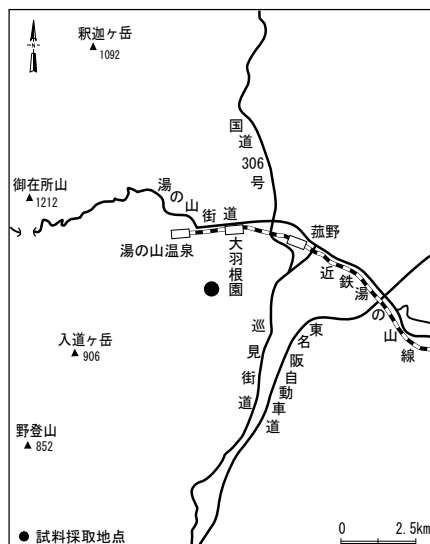
小笠原父島
N 27° 05' 37"
E 142° 12' 58"
(世界測地系)



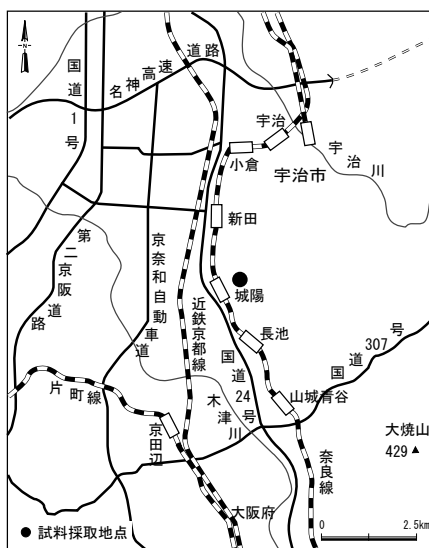
長野県環境保全研究所（長野市）
N 36° 38' 08"
E 138° 10' 42"
(世界測地系)



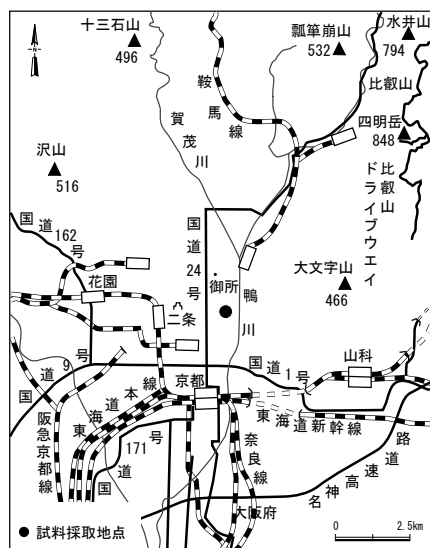
岐阜県保健環境研究所（各務原市）
N 35° 24' 27"
E 136° 50' 41"
(世界測地系)



三重県科学技術振興センター（四日市市）
N 34° 59' 30"
E 136° 29' 08"
(世界測地系)



京都府立城陽高校（城陽市）
N 34° 51' 11"
E 135° 47' 23"
(世界測地系)



京都市役所（京都市）
N 35° 00' 41"
E 135° 46' 05"
(世界測地系)

図 1-6 (2/3) 平成 19 年度詳細環境調査地点（大気）詳細

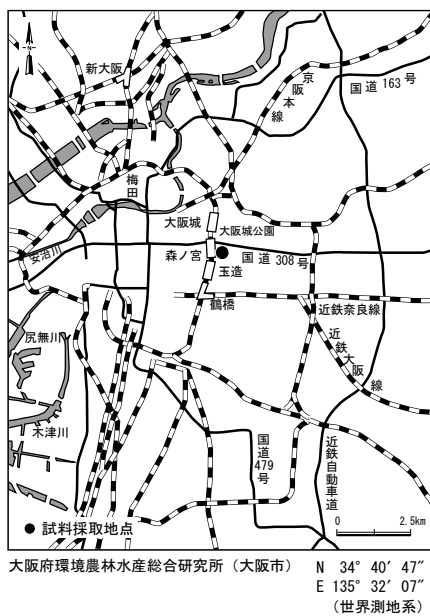


図 1-6（3/3） 平成 19 年度詳細環境調査地点（大気）詳細

（３）検出下限値

分析機関が分析データを報告した時の検出下限値は、試料の性状や利用可能な測定装置が異なることから必ずしも同一となっていないため、集計に関しては、統一の検出下限値を設定して、分析機関から報告された分析値を次の２つの手順で取りまとめた。

１）高感度の分析における検出値の不検出扱い

分析機関における検出下限値が統一の検出下限値を下回る高感度の分析を実施した場合においては、統一の検出下限値を下回った測定値については、全国集計上は不検出として取り扱うこととした（概念図①を参照）。

２）感度不足の分析における不検出値の集計対象からの除外扱い

分析機関における検出下限値が統一の検出下限値より大きい場合において、調査対象物質が検出されないときは集計の対象から除外扱いとした（概念図②を参照）。

詳細環境調査の分析法に採用した化学物質分析法開発調査報告書等に記載されている分析法（以下「詳細環境調査分析法」という。）において装置検出下限値（以下「IDL判定値」という。）及び分析方法の検出下限値（以下「MDL」という。）が記載されている場合においては、分析機関で測定したIDLがIDL判定値より小さいときには、詳細環境調査分析法の当該MDLを分析機関の検出下限値とした。

詳細環境調査分析法にIDL判定値及びMDLの記載がない場合においては、以下の手順により検出下限値を設定した。

①分析機関が、分析法開発マニュアル等に規定された算出方法に準拠して適切なIDL及びMDLの算出を行っている場合においては、算出されたMDLを当該分析機関の検出下限値とした。

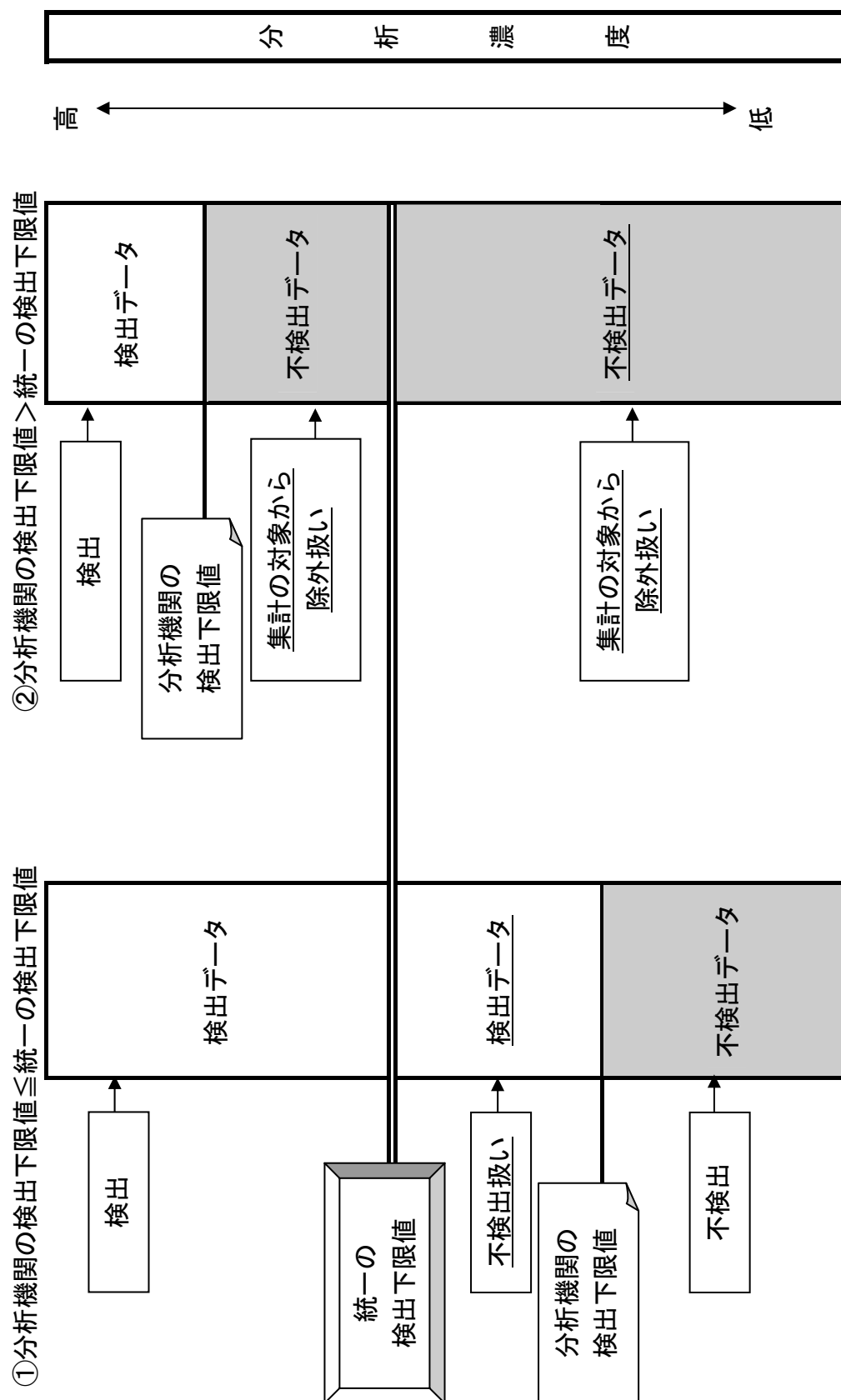
②分析機関から適切なIDL及びMDLの算出が行われなかった場合においては、

- ・ 詳細環境調査分析法又は他の分析機関により算出された当該物質のIDL及びMDLからの推定、
- ・ 検量線最低濃度と添加回収試験からの推定若しくは
- ・ 添加回収試験、操作ブランク試験及び環境試料のクロマトグラムにおけるS/N比（シグナルノイズ比）からの推定

のいずれかの方法により、当該分析機関の検出下限値を設定した。

（４）分析法

分析法の概要は、章末に示すとおりである。



分析値を取りまとめる際の概念図